

令和3年度 第1回学校運営協議会 5月24日(月) 9:30~12:00

出席者 A委員：企業関係者 B委員：公民館代表  
C委員：福祉関係者1 D委員：学識経験者  
E委員：同窓会代表 F委員：福祉関係者2  
G委員：行政関係者 H委員：福祉関係者3  
J委員：PTA代表 本校校長  
オブザーバー参加：本校副校長2名、事務長、本校総括教務主任 計14名  
欠席 I委員(福祉関係者4)

1. 開会
2. 校長挨拶・学校運営協議会趣旨説明
3. 出席者自己紹介
4. 日程説明
5. 辞令交付
6. 学校案内・授業参観 2グループに分かれて実施
7. 会長・副会長選出  
事務局より提案：拍手により承認 (会長A委員、副会長B委員)
8. 協議(熟議) 議事進行 会長A委員
  - 1) 令和2年度学校評価報告書について(副校長) 資料の通り
  - 2) 今年度の学校経営計画について(校長) 資料の通り拍手で承認・質問等なし
9. 報告
  - 1) 各学部・寄宿舎の運営計画について(統括教務主任) 資料の通り
  - 2) 分掌運営計画について(副校長・事務長) 資料の通り

質疑

E委員 研修会等をやる場合の会場の確保について、無料もしくは低料金などの会場確保の支援策はないか、ぜひ情報提供と情報収集をお願いしたい。

→立根地区公民館は50名程度は入れる。

→マイヤ本社の研修室・会議室なども検討しては。ただし収容人数はさほど多くない。

(本校より) 小学部遠足の際に雨天時に活用できる施設の情報が欲しい。

E委員 高等部が作業学習で作ったものを市日で販売するが、市日での販売は毎月行われるか。

→市日が開催される日で、本校の教育計画の中で実施可能な日に行っている。

H委員 小中学部は減少傾向なのか。

→地域の生徒数自体が減少している影響はある。高等部は寄宿舎があるため他地区からの入学者が一定数ある。

H委員 卒業後、グループホームなどで生活することを考えると、洗濯ができるだけでもグループホームで生活しやすくなる。寄宿舎では洗濯物を干している様子が見られたが、どのぐらい洗濯しているのか。寄宿舎での生活は大変貴重ではないか。

→生徒により支援が必要な場合もあるが、特にも夏場など、衛生面の指導上も可能な限り指導や支援を行っている。

3) 今後の地域との協働学習について(副校長) 資料の通り

## 10. 委員の皆様から

B委員：生徒が楽しめる活動を。立根川の美化活動など公民館を通じた地域団体との協働学習も考えられる。

C委員：自分たちが作ったものを販売するということは達成感や意欲につながる。そういう場を増やすことができないか。寄宿舎について、社会に出た後困らないよう自立に向けた指導が充実できる環境を整備できればよい。

D委員：職員の生徒に対するしっかりとした指導の様子が見て取れた。

小中学校の交流籍について、保護者からは中学校の統廃合が進み参加しにくいという声もあるが、中学校としては支援学校の生徒との交流は福祉教育上とても大切なものと受け止めている。積極的に声をかけてもらえれば中学校としてもありがたい。

E委員：先生方を助けることができれば、子供たちへの支援にもつながると考える。何か具体的なことを考えて協力していきたい。

F委員：学校の指導によりできていたことが、卒業後の生活や仕事の中でできなくなってしまうことがある。学校で育まれたものを生かしていけるよう学校と一緒にやっていきたい。

お菓子の販売を楽しみにしています。

G委員：学校や福祉分野にはあまりかかわってきていないが、フラットな目で見ていけるようにしたい。コロナ禍の中で「やっちゃダメ」ではなく、この環境で「いかにやるか」「どのようにしたらやれるか」を考えていくことも必要ではないか。

H委員：医療的ケアをどのような体制で行っているのか。訪問教育には対応しているのか。

→医療的ケアは現在、小学部1名・高等部1名が対象となっている。看護師4人体制である。ただし、看護師は非常勤職員であるため、対象児が就学見込となった際の募集に課題がある。訪問教育については現在対象となる児童生徒がいないため行っていないが、来年度以降必要な児童生徒がいれば対応できる体制は整っている。

J委員：一保護者として参加している。洗濯の話題が出たが、子どもは洗濯・掃除を毎日やっており、できることはかなり増えている。現在、休日の過ごし方が心配である。支援学校にいと地域の中で存在が知られていない場合があり、さらに地域の同年代の子どもも減っており、同年代と過ごす機会が少ない。卒業後も仕事をしながら休日をどう過ごすかが気になっている。

## 11. 諸連絡 今後の運営協議会の日程について確認

## 12. 閉会